

2007（平成 19）年度在宅医療助成完了報告書

「在宅リンパ浮腫に対するセルフケア講習会実施のための
人材養成」

申請者名 上島 隆秀

所属機関・職名 九州大学病院・理学療法士

所属機関所在地 福岡県福岡市東区馬出 3-1-1

提出年月日 2008 年 8 月 23 日

1：はじめに

リンパ浮腫は、乳がんや子宮がんの手術後、その他の原因により生じるむくみを主症状とした疾患である。リンパ浮腫に悩む患者さんは5万人以上ともいわれる。しかし、完治させる治療法はまだ確立されておらず、そのケアに対しては複合的理学療法と呼ばれる方法が安全かつ効果のある治療技術として国際リンパ学会などから推奨されている。しかしながら、この治療技術を習得するには多くの費用や研修期間が必要とされる。

申請者は平成16年から、リンパ浮腫患者グループ「あすなろ会」の協力を得てリンパ浮腫セルフケア講習会を開催してきた。今後も協力関係を継続する予定であるが、現状では開催頻度を増やすことが困難であり、また、いつまでも依頼することができるとは限らない。そのため、今後はリンパ浮腫セルフケアの指導を申請者自らが実践できるようにするべく、平成19年7月から、NPO日本医療リンパドレナージ協会主催のセラピスト育成講習会に参加することとした。この講習会では、複合的理学療法を理論から実技までじっくり学ぶことが可能である。

2：セラピスト育成講習会について

1) 初級講習会 フェルディ式医療マニュアルリンパドレナージ 複合的理学療法 10日間 計80時間

平成19年7月28日～7月31日 理論講習会 京都リサーチパーク（京都市）

内容「解剖・生理、リンパ浮腫概論、複合的理学療法の講義、医師による特別講義、弾性スリーブ・ストッキングなどの紹介」

平成19年9月6日～9月8日 実技講習会 フェニックス・シーガイア・リゾート（宮崎市）

内容「上下肢のマニュアルリンパドレナージ及びバンデージ（圧迫包帯）の実技」

平成19年10月2日～10月4日 実技講習会 フェニックス・シーガイア・リゾート（宮崎市）

内容「腰臀部のドレナージやバンデージの実技、頭部や顔面のドレナージ、まとめ」

2) 中級講習会 フェルディ式医療マニュアルリンパドレナージ 複合的理学療法 12日間 計108時間

平成20年1月11日～13日 理論講習会 京都リサーチパーク（京都市）

内容「講義（緩和ケア、放射線療法看護、解剖・生理・複合的理学療法）、認定試験の説明」

平成20年2月29日～3月3日 実技講習会 フェニックス・シーガイア・リゾート（宮崎市）

内容「乳がんや子宮がん、慢性静脈不全を原因とするリンパ浮腫に対するマニュアルリンパドレナージ及びバンデージの実技」

平成20年3月10日～3月14日 実技講習会および修了試験 フェニックス・シーガイア・リゾート（宮崎市）

内容「頭部や下腹部のリンパドレナージ、症例検討、総まとめ、修了試験（筆記、実技、口頭試問）」



マニュアルリンパドレナージ実技練習（講習会の様子は撮影禁止のため受講者同士で練習した様子を撮影。モデルは申請者）

3：平成20年度診療報酬改定

平成20年4月、診療報酬が改定された。リンパ浮腫指導管理料が新設されたが、適応対象は乳がんや子宮がん手術の入院患者であり、しかも手術後1回のみでの算定である。また、既に発症している患者、生まれつきによるリンパ浮腫患者などは対象外である。そのため、今後も、リンパ浮腫患者を対象としたセルフケア支援は継続する必要がある。

4：幅広い対象疾患

講習会を受講する前は、乳がんや子宮がん術後のリンパ浮腫患者さんのみを支援対象と想定していた。しかし、平成20年3月に講習会を修了した後は皮膚移植後、泌尿器手術後、関節置換術後、骨髄移植後になんからのきっかけで発症したリンパ浮腫のケア依頼を受けるようになった。また、乳幼児のリンパ浮腫患者さんに対するマッサージ相談を受けたこともある。リンパ浮腫セラピスト講習会受講前であれば、情報提供のみで終わっていたところである。しかしながら、現在では勇美記念財団助成により講習会を受講できたことで、リンパ浮腫ケアの知識・技術が格段に向上した。そのため、母親に対してリンパ浮腫ケアの意義、マッサージについて指導・説明を行うことができた。

5：修了試験

中級講習会修了試験に合格することができた。中級講習会の修了は、臨床において使える知識・技術を身につけていることを示す。さらに、上級者認定も存在するが、これは緩

和ケアのような臨床場面でのリンパ浮腫ケアができる治療者とされている。申請者の所属する施設は都道府県がん拠点病院であり、上級者試験を修了し、さらに知識・技術を身につける必要が出てくるかもしれない。

6：今後の予定

しばらくは患者会主催のリンパ浮腫セルフケア講習会においてアシスタント協力を行い、その後は申請者自身が講師となって同講習会を継続する予定である。加えて、昨今増加しつつあるリンパ浮腫ケア相談にもできるかぎり応じてゆきたい。また、学会や研修会への積極的な参加を通して知識・技術をさらに蓄積したい。

7：感想

毎年、リンパ浮腫患者グループ「あすなろ会」の支援によりセルフケア講習会を開催してきた。しかしながら、いつまでも患者会の支援に頼れるわけでもないため、申請者が代表である「九州大学病院リンパ浮腫ケア講習会実行委員会（九州大学病院スタッフ有志により組織される）」が主体的にセルフケア講習会を開催する準備を進めるべく、平成20年の春にリンパ浮腫セラピスト講習会を受講する決断をした。しかしながら大きな受講料負担という課題が存在した。そのような苦しい状況下で、勇美記念財団からの助成を受けることができた。また、講習会受講中に、診療報酬改定によりリンパ浮腫ケアに対する報酬が新設されるとの情報が流れてきた。勇美記念財団のおかげでタイミングよく受講できたことに深く感謝したい。



過去のリンパ浮腫セルフケア講習会の様子（講師は申請者ではない）

謝辞：今回の在宅医療助成のおかげで、講習会の受講を途中で諦めることなく、リンパ浮腫ケアの技術を身につけることができた。財団法人 在宅医療助成 勇美記念財団の助成に深く感謝申し上げる次第である。